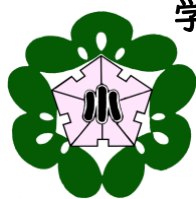


教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学 校 だ よ り

高 松

令和7年5月1日 発行

立川市立第五小学校

校 長 関 口 保 司

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238

042-523-5230（こだま学級）

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa-edu.jp/es05/>

五小の子どもたちの素晴らしさ

校長 関口 保司

新緑の季節になりました。私はこの季節が大好きです。多くの花が咲き、山の木々は新芽が緑色に輝いています。そして爽やかな風が、とても心地よく感じられます。

子どもたちが入学・進級して約1ヶ月が経ちました。この1ヶ月の間に、子どもたちの素晴らしい姿をたくさん見る事ができました。

1つ目は、入学式翌日の4月10日の出来事です。子どもたちが登校した後、靴箱を見た私は、とてもびっくりしました。1年生の子どもたちの靴が、かかとをそろえて、きちんと靴箱に入っているのです。もちろん1年生だけでできたわけではありません。最高学年の6年生が、「学校ではこうやって靴をそろえるんだよ。」と丁寧に教えていたからこそできたのです。そして1年生が2階に向かった後、きっともう一度6年生が、靴を丁寧にそろえてくれたのでしょう。「学校では、こうするんだよ。」と教える6年生。そして「学校では、こうやるんだ。」と頑張る1年生。その姿を思い浮かべ、五小の子どもたちは、なんて素晴らしいのだと感動しました。さっそく14日（月）の全校朝会で、この時のことを全校の子どもたちに話しました。

2つ目は、21日（月）体育館での全校朝会での出来事です。全校朝会は8時30分のチャイムで始まります。1年生も含めて、全校の子どもたちが体育館に集合したのは8時28分。チャイムが鳴る前に、きちんと整列ができていました。子どもたちの「時を守る」姿勢に、とてもうれしくなりました。通常、体育館に集合するのは、出入り口の関係で少し時間がかかるものです。しかし体育館で全校朝会があるから少し早めに準備して、みんなに迷惑をかけないようにしようとする心構えが感じられました。28日（月）は、初めての校庭での全校朝会でした。五小の校庭は西校舎建設の関係で、以前より少し狭くなり、南校舎に対して斜めにトラックのラインが引かれています。この斜めのトラックにそって並ぶことは、子どもたちにとってとても難しいのです。しかし先生方の準備もあり、時間も守ってきちんと並ぶことができました。

そして3つ目は挨拶です。令和4年度の学習発表会で、当時の6年生が立川市民科について調べ、自分たちにできることとして、「あいさつ運動」が始まりました。その後、五小の新しい伝統として子どもたちに引き継がれ、毎朝子どもたちがすすんで元気な挨拶を行っています。

しつけの三原則（1挨拶 2はいの返事 3履物をそろえる）や再建の三大原理（1時を守り 2場を净め 3礼を正す）で知られる教育学者の森信三氏は、多くの著書で次のように述べています。『履物をそろえる』とは、物事のしめくくりをきちんとするとともに、次の行動の準備に通じます。履物をそろえると、心もそろえるのです。『時を守る』ということは、相手や周りの人を尊重することです。信用を積み重ねることができます。『挨拶』は、良好な人間関係を築くうえで、最も基本的な行動です。挨拶の『挨』はひらくという意味です。『拶』はせまるという意味があります。つまり自分の心を開いて、相手との距離を縮めていくことを表します。」

第五小学校の子どもたちは、「履物をそろえる」「時を守る」「挨拶」という基本的な生活習慣がしっかりとできています。これは大変素晴らしいことです。この素晴らしさを基に、子どもたちの力をさらに伸ばしていきたいと考えています。今月も本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願い致します。